

陸上幕僚長 森下陸将 熊本地本初度視察



隊内巡視

9月5日(火)自衛隊熊本地方協力本部(本部長1等陸佐 笹島 昭佳)は、陸上幕僚長 森下陸将による初度視察を受けました。

陸上幕僚長は、熊本地方合同庁舎において出迎えを受けた後、状況報告、各地域事務所長との懇談、隊内巡視本部職員との会食、場所を移して第2合同庁舎にある熊本募集案内所での懇談の順で視察されました。



状況報告



出迎え

の際には、熊本県における募集就職支援準備官業務等の環境について説明するとともに、取り組みについてご理解いただきました。

陸上幕僚長からは、部員に対する労いや、厳しい募集環境の中、あらゆる施策を推進して、従来の施策と組み合わせ、人材の確保に努めてほしいという、益々の期待のお言葉を頂きました。



記念撮影(熊本募集案内所)



記念撮影(熊本地方協力本部)



見送り



各地域事務所長との懇談



広報官との懇談

また、そのほか、各地域事務所長との懇談では、募集での状況について、各地域事務所長の特性に応じた取り組みと、及び各種施策についてご理解いただき、最終的なきやま雰囲気での降参視察でした。

発行所
自衛隊熊本地方協力本部
〒860-0047 熊本県熊本市東区南2丁目10番1号
熊本地方合同庁舎3階3号
TEL 096-297-2053

熊本地本 [検索]
https://www.mod.go.jp/pco/kumamoto/

自衛官への第一歩 令和5年度統一期試験開始

試験官からの注意事項などの説明後、試験開始の合図で受験生は、一斉に筆記用具を取り、今までの受験勉強を全てぶつける様に試験問題に取りかかっていました。ほとんどくく首が響く音と空気の揺れが、緊張の空気に包まれました。

試験については、午前には一般曹候補生、午後は自衛官候補生(Weib)の2部構成で行われ、ほとんどの受験生が併願しており、1日2回、2回の試験をこなした受験生は会場を後にする時は、皆、解放感にあふれた表情でした。



■整った面持ちで、受付に並ぶ受験生

熊本市内各地で受験生奮闘！

9月10日(土)、熊本県内各地を回り、令和5年度第2回一般曹候補生採用1次試験及び第3回自衛官候補生採用1次試験を実施しました。

県内6会場で実施された本試験では、各所広報官が県内各地にて積極的な募集活動を行った結果、多くの方が受検を希望し、試験会場へ背中を押され、試験会場へ2歩を進めました。

試験会場は、受験生の緊張が伝わる様子をとり、した雰囲気の中、開始の直前まで参考書やお手製単語帳などを片手に熱心に復習したり、集中するために目を瞑るなど、各々試験に向けて準備を行いました。

続く、9月22日(金)から28日(木)にかけて、北熊本駐屯地において令和5年度第3回自衛官候補生採用試験を実施しました。

試験は面接試験と身体検査とで構成されており、各日、受験生は朝早くから会場となった北熊本駐屯地体育館へ集い、面接の緊張と不安からビリビリとした空気の中、一緒に高校から来た友人と話したりスマートフォンを覗くなどして、各々緊張と不安を和らげていました。

いざ面接が始まると受験生は若さ溢れる活き活きとした表情で面接官へ挨拶し、面



面接会場の様子(北熊本)



試験官の話を真剣に聞く受験生

▲試験会場の様子(熊本)

求む！自衛官 **募集のお知らせ**

- 一般曹候補生
 - 資格：18歳以上33歳未満
 - 締切：令和5年11月30日
- 陸上自衛隊高等工科学校生徒
 - 資格：男子で中学17歳未満
 - 締切：令和6年1月5日

詳細は、自衛隊熊本地方協力本部募集課までお問い合わせください。
熊本地本 募集課 TEL096-297-2051

接会場へ入っていき、会場の中からは自衛官を目指したきっかけや学生時代に培った部活動などの経験を緊張しながらも一生懸命に面接官へ答える声が聞こえていた。しかし、試験場に居残ったのが、終始笑い声が上っている会場もありました。

面接終了後の受験生は緊張も解け、安堵感から笑顔が見え、1週間にも及ぶ試験で約200名近くの受験生が不安と緊張の中、一歩は面接の中で、「自衛官になることが小さいころからの夢でした。熊本地域の院家が倒壊し、避難所生活を含め大変な状況下で、陸上自衛官の方に憧れていたので、この時からずっと憧れてきたので、この機会を捉え、自衛官になるという確固たる意志と夢実現への大きな一歩を踏み出していました。

陸海空自衛隊 サマー・フレンドシップキャンペーン開始!

熊本地本全域で情熱的な募集広報を実施!

7月21日(金)、熊本県内の全募集事務所が一丸となってサマーフレンドシップキャンペーンに伴う募集広報を実施しました。本キャンペーンは、全国の自衛隊部隊及び地方協力本部で行われるイベントであり、学生が夏休み期間となる7月21日(金)から8月31日(木)の間、全国各地において積極的な募集広報が実施されました。



家族会の協力で県内広く PR 総業式へ向かう学生に自衛官募集を PR



熊本県本においては、夏休みに前、終業式へ向かう学生へJR各駅や学校前、総業式を終わって繁華街へ繰り出した学生に対し、あいさつ運動やティッシュ配布などを行い、自衛官募集を積極的に広報しました。



臨時募集会場でリクルータが活躍



迷彩服での防犯パトロール&ゴミ拾い活動

装備品に魂を込める! 入魂式と見学

～県内初お披露目の装備品に参加者釘付け～

8月4日(金)、募集対象者を招待し、北熊本駐屯地に新たに配備された19式装輪自走15.5mりゅう弾砲(19 Walk 15.5)の入魂式の見学を実施しました。入魂式とは、新たな装備品が部隊配備される際に本装備品の制作、配備に関わった東宝や部隊長らの名前をプレートに刻むという陸上自衛隊の行事であり、見学した募集対象者は、厳かな雰囲気の中、東宝や部隊長が次々に名前を刻み、魂を入れ込む様子に見入っていました。



当日は晴天に恵まれる

全国の特科部隊に先駆けて配備されたものであり、我々は事実に即応するため、本装備品の特徴を活かした新たな戦い方を習熟し、早急に戦力化を図る必要がある。本装備品を我々の新たな相棒として、愛護心をもち取り扱い、隊員一人ひとりが日々のためまな努力を期待す、という言葉がありました。



本部長挨拶

8月27日(日)、募集対象者等を招待し、日出生台演習場において第42砲動連隊が実施する総合戦闘射撃訓練見学を実施しました。本見学は熊本県内では見ることのできない射撃訓練であり、その貴重な体験を通じて陸上自衛隊への理解を深めていただき、志願意欲の向上を図ることを目的としたものです。見学当日は、晴天に恵まれ視界はよく、絶好の見学日和となりました。

日出生台で総合戦闘射撃を見学



本部長と笑顔で



厳かな行事を見守る

特に、見学者を興奮させたのは、目の前を行われた16式機動戦闘車(MCC)の射撃であり、その迫力に見学者は驚き、自衛隊の精強さを理解



見学風景

見学位置に到着後、広報担当による概要説明を受けたのち、慣れない重い鉄砲を着用しました。訓練開始の発声で遠方からの射撃が轟音と共に始まり、最初は大きな音に驚いていた見学者もすぐにその音にも慣れ、双眼鏡を使って着弾点の方向を見学していました。



総合戦闘射撃訓練概要説明



記念撮影



16式機動戦闘車の射撃



スカイレンジャー(ドローン)を見学

となりました。熊本市から日出生台演習場までの道のりは遠く、阿蘇の山を越えるほどの移動となったため、参加者は少し疲れが見える様子でしたが、演習場の門をくぐり射撃訓練に参加するとそれ違うたに見学の楽しさのみならずその車面に釘付けになり、疲れも吹き飛んだ様子でした。

参加者からは、「迫力があり、最高に楽しかった!」や「戦闘車両がかっこよかった!」などの感想があがり、帰りの車内でも見学内容について参加者同士大いに盛り上がりつつありました。

募集対象者は十分すぎるほどの迫力と射撃の正確性でした。また、訓練部隊の厚意でスカイレンジャー(ドローン)を見学イベント付近に着陸してもらい、見学者は近くで見える装備品に興味深く観察していました。

令和5年度熊本県任期制隊員合同企業説明会

自衛隊新卒の 再就職活動本格始動

8月28日(月)、令和5年度熊本県任期制隊員合同企業説明会(共催)一般財団法人自衛隊援護協会福岡支部を開催しました。

本説明会は、退職間際まで任務を遂行し、十分な就職活動ができない自衛隊新卒(任期制自衛官を修了して民間企業に就職する隊員)のため開催しています。任期制隊員33名、企業70社の参加となりました。本説明会の目的、自衛隊熊本地方協力本部長と自衛隊援護協会福岡支部長からの参加企業に対し、日頃からの退職自衛官の雇用に対する調剤や本説明会の重要性、任期制隊員の有用性及び予備自衛官等制度への協力について挨拶を行いました。

隊員は、関心のある企業のブースで業務内容等の説明を受けるとともに30分程度の面接により企業の理解を深めていました。面接後、多くの隊員から「就職したい企業があった」と好評を得、企業からも是非「対し」丸読正しい「雇い採用したい」等の声をいただきました。

また、企業に対し面談の空き時間を利用して、予備自衛官等担当者が予備自衛官等制度の重要性の説明や予備自衛官等の活躍の紹介を実施し、雇用の拡大を図りました。

今後、隊員と企業の就職(採用)の意向を確認し、会社見学や採用面接等の再就職に向けた調整を本格的に始動させていただきます。



笑顔で会話も弾む



良い雰囲気で行く面談



会場の様子



本部長挨拶

退職自衛官を採用して

雇用企業主の声

全国共済農業協同組合連合会
熊本県本部

本部長
石原 圭一 様



1 企業の概要及び事業内容等

J Aグループは、組合員・地域住民の営農と生活全般にかかる総合事業を展開し、皆さまの暮らしをサポートしております。その中で、我々J A共済は、「一人は万人のために、万人は一人のために」という「相互扶助(助け合い)」を事業理念に、個人の暮らしを取り巻く「ひと・いえ・くるま」のリスクに対する総合的な保障を提供するために、生命共済(保険)事業、損害共済(自動車保険・火災保険)事業を展開しています。また、地域・農業の活性化、および元氣な暮らしを応援するため、交通事故未然防止活動や健康増進活動などの地域貢献活動にも力を入れております。これらの事業活動の積極的な展開を通じて、熊本において豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献しています。

2 退職自衛官の採用理由

退職自衛官の方には、主に自動車共済にかかる損害調査業務に従事していただいております。自衛隊勤務で培われた強い責任感と規律正しさに大きな信頼を寄せています。また、体力的・精神的にもタフな方が多く、対人交渉(折衝)において強みを発揮されています。

組織に対する忠誠心や貢献意識が非常に高く、個々の事案(交通事故の案件)では、契約者や被害者(相手方)へ親身な対応で円滑な事故解決を図っていただいております。さらにユーモアがあり気さくな人柄の人材も多く明るい職場づくりに寄与いただいております。

3 退職自衛官の職務内容及び勤務の様子

いわゆる交通事故の示談交渉・事故調査を担っていただいております。具体的には、J Aの自動車共済にご加入の契約者が交通事故に遭われた際、契約者の代わりに相手方との交渉を行い、事故解決のお手伝いを行っていただいております。「人身事故」では治療費や慰謝料等、「物損事故」では過失割合や損害額(修理費)等の適正な査定が必要となります。

契約者との面談や相手方との交渉の場面においては、迅速かつ真摯な対応を行っていただいております。我々のモットーである交通事故の解決を通じた「安心」と「満足」の提供に向けても力強い職員ばかりです。

また、業務以外では、職場内のゴルフ大会など積極的に企画・参加されており、皆さんでもお上手です。職場の親睦旅行にも多くの方が参加され職員間の交流も積極的に図っておられます。

令和5年度第2次予備自衛官 5日間招集訓練を支援

9月8日(金)から12日(火)までの間、第8(伯耆)隊が担任し、北熊本駐屯地にて実施された熊本県内における今年度第2回自衛官予備自衛官5日間招集訓練を支援しました。

訓練には、予備2等陸佐から予備隊長まで、予備自衛官100名が参加しましたが、コロナの影響で久しぶりに参加する隊員もおり、現役時代の先陣や同僚、後輩との再会に喜ぶ姿が認められました。

訓練が始まると、迷彩服に身を包み、引き締まった表情で射撃検定・体力検定・ガンハンドリングなど、連日30度を超える猛暑の中、真剣な眼差しで取り組む姿を見られ、さすがに予備自衛官の印象を受けました。

9月9日(土)には、自衛隊熊本地方協力本部長が、永年勤続者に対する表彰式を実施し、15名の受賞者に対し永年の功績を称え、受賞状が手渡されました。受賞者の一人は予備自衛官としてこの勤務を全し、今回事務の動員を全し、予備自衛官としての訓練を修了しましたが、「予備自衛官の重要性を認識し、訓練に参加できました。仕事との両立は厳しかったが、任期を終え安堵していますが、これからは臨みながら予備自衛官を応援したい」との感想をいただきました。



救急法訓練



体育訓練



射撃検定



永年勤続者表彰式(5年勤続)



永年勤続者表彰式(総監顕彰)

予備自衛官 表彰受賞者紹介

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 澤田 文博

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 田上 結輝

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 石塚 仁

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 川田 伸也

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 信次郎

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 澤田 信次郎

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 田代 浩治

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 井上 裕也

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 小森 和也

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 小森 光輝

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 榎本 彰明

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 井上 裕也

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 山口 清史

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 山口 清史

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 山口 清史

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 山口 清史

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 山口 清史

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 山口 清史

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 山口 清史

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

予備自衛官 山口 清史

第8(伯耆)隊(熊本駐屯地) 第20年(以上)

自衛隊フェスタ in 熊本

～今年の夏は自衛隊の夏～



熊本西特連太鼓による演舞



西部方面音楽隊による演奏

7月29日(土)・30日(日)に西部方面総監部主催で行われた自衛隊フェスタin熊本を総監部とともに担任実施しました。

本イベントは、地域の方々へ、より一層陸海空自衛隊に対する親しみを待っていたらどうかを目的として実施され、熊本では4年ぶり2回目、熊本駅前アミューズひろばは、初の開催でした。

西部方面音楽隊による演奏で幕を開けた「自衛隊フェスタin熊本」力強い西特連太鼓の演奏、現役パイロットやリクルーターによるトークショー等のステージイベント、アミューズひろばに整列した陸上自衛隊の装備品、陸海空自衛隊勢揃いの広報ブースに、行き交う人々も足を止めて、せっかくだから、見てみようよ」と自衛隊一色に染まった会場に興味津々。



臨時募集説明会場も大盛況でした



陸・海・空自衛隊広報ブース

7月21日から開始した「陸海空自衛隊サマーフレンドシップキャンペーン」に合わせたSNSで告知したこともあってか、イベントを見て来ましたが、もっと自衛隊が好きなので、楽しみにしていました」という方や、「ツイエ見て、自衛隊に興味があったので、ちょっと話を聞いてみようかと思って」とブースを訪れた学生や保護者もあり、熱心に広報官に話を聞いた方、熱心に広報官に話を聞いた方、非常に嬉しいと思いました。

最終的に自衛隊フェスタin熊本は、2日(土)・日(日)の間に合計48,000名の方が来場し、イベントは大盛況のうちに終了しました。



ロープワーク



救急法



護身術



自衛隊の災害派遣活動概要説明

「自衛隊の活動について知ることができた」「護身術は自分の身や大切な人を守るために覚えておきたい」「護身術で学んだ事については友達、家族に教えてあげたい」「ロープの結び方は家でよく練習して忘れないようにしたい」「自衛隊の方は真面目で、ついイメージがあったが、ユーモアがあって優しい一面も見ることができた」「被災時のいきないうちに活用できるように今日学んだ事を復習していきたい」「自衛隊は無料で資格をとれることを知らなかった」「装備品を身近に見ることができてよかった」などの感想を聞くことができました。

大学生に対し自衛隊の魅力を伝える
部隊防災減災教育

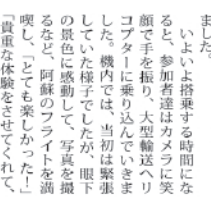
7月8日(土)、熊本保健科学大学において熊本大学、熊本県立大学及び熊本保健科学大学の学生209名に対し防災減災教育を実施しました。

本教育は、前年度から開催しており、自衛隊の災害派遣の概要についての説明、自分で危険から身を守る方法及び災害時に役立つ救急法、ロープワーク等の実習を通じて、自衛隊の各種活動に関する理解促進及び親近感の醸成を図ることを目的として実施しているものです。

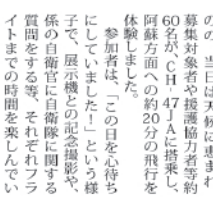
教育を受けた学生達からは、「自衛隊の活動について知ることができた」「護身術は自分の身や大切な人を守るために覚えておきたい」「護身術で学んだ事については友達、家族に教えてあげたい」「ロープの結び方は家でよく練習して忘れないようにしたい」「自衛隊の方は真面目で、ついイメージがあったが、ユーモアがあって優しい一面も見ることができた」「被災時のいきないうちに活用できるように今日学んだ事を復習していきたい」「自衛隊は無料で資格をとれることを知らなかった」「装備品を身近に見ることができてよかった」などの感想を聞くことができました。



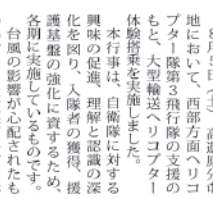
安全教育



記念撮影



上空からの眺めは最高



いつでもきまーす

体験搭乗

阿蘇の夏空フライト

8月5日(土)、高遊原分屯地において、西部方面ヘリコプター1隊第3飛行隊の支援のもと、大型輸送ヘリコプター体験搭乗を実施しました。

本行事は、自衛隊に対する興味を促進、理解と認識の深化を図り、入隊の獲得、援護基盤の強化に資するため、各期に実施しているものです。台風の影響心配されたものの、当日は天候に恵まれ、募集対象者や協賛協力者等約60名が、CH47JAに搭乗し、阿蘇方面への約20分の飛行を体験しました。

参加者は、「この日を心待ちにしていました!」という様子で、展示機との記念撮影、質問をする等、それぞれフライトまでの時間を楽しんでいました。

いよいよ搭乗する時間になると、参加者達はカメラに笑顔で手を振り、大型輸送ヘリコプターに乗り込んでいきました。機内では、当初は緊張していた様子でしたが、眼下の景色に感動して、写真を撮るなど、阿蘇のフライトを満喫し、「とても楽しかった!」「貴重な体験をさせてくれて、ありがとうございました!」と満足していただけであった。



なんでも聞いてね



いつでもきまーす



なんでも聞いてね



なんでも聞いてね